

事業概要【気候変動等に適応した持続可能な農業・水産業推進事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	118,446千円 (50,396千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・近年の夏期の高温等に適応した米の新品種開発により、地球温暖化が更に進行する環境下でも安定した品質を維持し、付加価値の高い米の生産と生産量の増大による輸出の拡大など、国内外から評価される米産地づくりを目指す。 ・地域の気象条件に応じた収益力の高い園芸作物の産地形成により、野菜の生産拡大やブランド化を進め、雇用の創出を図る。 ・高水温等に強い県産サーモンの安定生産体制とサプライチェーンの構築により、「定質、定量、定価格、定時」生産を行う、マーケットイン型養殖への転換を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○二期作が可能な沖縄県との連携による夏期の高温等に適応した県オリジナル水稻新品種の早期開発 ・沖縄県での系統選抜、試験等経費（委託料）2,500千円 ・施設整備（工事費）32,642千円 ○沿岸地域への大規模施設園芸企業誘致に向けた推進体制整備 ・推進組織設立及びセミナー開催経費（報償費等）352千円 ・モデル市町村が参画するコンソーシアム県負担金 2,508千円 ○スマート農業技術等高収益園芸作物生産拡大モデル実証 ・実証事業経費（委託料）8,204千円 ○高収益園芸作物への作付転換の加速化を図る研修会等の開催 ・研修会等開催経費（報償費、会場使用料等）1,128千円 ○高水温耐性養殖サーモン種苗の開発・効率的生産体制構築 ・種苗開発等経費（飼料代、ICT機器購入費等）3,062千円					 高温耐性を持つ米の新品種開発に必要な検定施設 (完成後のイメージ)	
地域の多様な 主体の参画	【主な内容】 JA等の農業関係団体などで構成する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」において、新品種のブランド化を図るとともに、水産業関係団体は県が開発した新たな種苗の利用や海面養殖業者への供給等による有効利用促進に取り組む。また、沖縄県と連携し、新品種の開発期間の短縮に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業経営体一経営体当たりの農業総産出額（+42万円） ②高温登熟耐性を持つ品種・系統の育成数（+10品種・系統） ③加工・業務用野菜の出荷量（+750トン） ④サケ・マス類の海面養殖の生産量（+600トン）